

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ハミング ことばとからだところの教室(重心以外)			公表日	2026年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		適切ではあるが、年齢に幅のあるグループになると、部分的に足りないと感じる場面はある。 →来年度に向けて、年齢別のグループ編成とする予定。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		スケジュールや動き方が分かるように視覚化している。 赤いテープの場所は入らないなど、色を使って場所の視覚化をしている。また、カードを使ってやりとりを行えるようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		未就園児対応時、集団活動に参加できないときに個別対応できるスペースが十分でないと感じる。 →年齢に合わせてグループを組む予定。そこで改善がされる。体制変更に伴い、個室が都度使えるようにしていく。
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	配置数は適切だが、担当制のため広く参画しているかは課題がある。次年度は機能訓練担当職員の増員をはかり多角的な視点からより専門性を強化する。 →送迎等でMTGに参加できない場合は、ノートを使用しコメントをすることで、振り返りができるようにする。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	/		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		
その他	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		ソフトを使うことでわかりやすい分析ができている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	送迎、研修、欠勤等で振り返りができなかった場合は、ノートを使って情報を共有している。	全職員が集まらない場合がある。 →ノートを使用し、共有はできている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	事前に基本情報を確認し、関係機関の把握を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3	連携会議や児童発達支援センターが行う研修には参加している。	スーパーバイズを受ける場面がなかった。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		事業所として交流することはない。 →法人で祭りを開催し、交流をしている。 地域の園に通っている利用児が多いため、園で交流の機会が確保されている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		今年度は研修は行わなかった。来年度以降、専門職員を中心に研修等の機会も作っていく。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	子ども自身に確認することはないが、日常の関わりの中で、子どもの課題やニーズを確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		今年度は事業所内での交流会を一度開催した。 法人のお祭りでは兄弟を含め、利用児家族の方に広く参加していただいた。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		法人では年に一度地域の中で祭を行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		マニュアルは作成しているが、周知が不十分だった。 →事業所内に掲示し、いつでも閲覧できるようにする。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			飲食活動はしないため、対象外	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		安全計画での活動をお便りで発信しているが、不十分だった。 →お便り内で何が何の発信かわかるように表記する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	毎月5S改善活動を行うことで、月1回は必ず行見直しと検討をしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハミング ことばとからだところの教室(重心以外)		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して楽しく通える場所になっている。	楽しく通えるように、好きな遊びから活動を検討し、支援を行っている。また、「できた」と感じられるように、まずはできる課題から、少しむずかしい課題にしていることで、利用児も安心して活動にできている。	毎年利用児は変わっていくため、その時々でスペースは適切か、視覚支援ができていないかを検討し、改善を行っていく。
2	個別支援計画だけでなく、専門的支援実施計画を作成し、より専門性の高い支援が行えるようにしている。	支援ソフトを導入し、より客観的な視点でのアセスメントを行っている。また、各専門職員の目線で利用児の様子を確認し、支援の方向性を検討している。	機能訓練担当職員を増員し、専門性の高い計画の作成と実践を行う。また、内容をわかりやすく保護者へ伝え、事業所だけでなく家庭等での支援につなげてもらえるようにする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や保護者同士の交流ができる機会の提供が少なかった。	事業所として提供経験が少ないこと、年間行事として設定されていないため、その時々ニーズによっての不定期の開催になっている。	保護者会等、年に何回行うかを検討する。また、内容についても先に検討し、準備を進めていく。
2			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ハミング こぼとからだとこころの教室(重心以外)

公表日 2026年 2月 27日

利用児童数 2025年 12月 31日 45名

回収数 36 枚

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	1		6	・中の様子が見えづらい	・希望者には、ハミングで使用しているタブレットを使用し、療育中の様子を確認しながら、療育中の様子が伝わるようにする。 ・療育見学ができることを面談やお便り等で知らせていく。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28			8		・配置基準は満たしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	1		6	・中にあまり入ったことがないので、わからない	ボードやカード、床の印など、場所や時間、人の構造化をしている。 バリアフリーになっていない場所もあるが、不便さの中でどのように対応をしたら良いかを含めて、普段の支援に加えている。 保護者にも、事業所の環境としての構造化している内容も、通信や面談でも積極的に発信していく。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31			5	・外から見た感じでは良い ・見学の際、清潔だと感じた	子どもが活動に集中できるように、刺激が少ない環境を意識している。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32			4		・HPに掲載、年度ごとに更新しているが、情報が伝わっていない。契約時、年度初めに書面でお渡しする。 ホームページで公表した後に保護者にも連絡する。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	36						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32				4		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35				1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	2			6		・活動プログラムについて説明はしているが、通信等で写真や活動の様子を掲載する際、活動プログラムと表題をつけ、何について発信をしているかわかりやすくする。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	3		18	・他園との交流はなかった	・普段一般の園に通っている利用児が主であるため、ハミングで地域交流する際は、地域の公園に運動やルールの確認目的で使用している等行っている。そういった発信を行っている。	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36							
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36							
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	3	1		18		・ハミングとしてはペアトレを行っていない。ご相談があった際は個別で対応を行っている。	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	32	4			・迎えの際に情報共有ができていますか。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	6		3		・計画更新時に面談を行っている。 ・相談を発信できる交流会等の場を増やしていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32	2		2	・担当の先生が変わる前は正直・・・でしたが、今は面談のときすぐ親身になって聞いてくれ、アドバイスもくれるので助かっている	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	3	4	16	・他の方との交流をしたことがないため、わからない ・交流会へ参加するため場所がわからず電話をしたら、わからないと言われて参加できなかった ・1回のみだったので、定期的に行ってほしい ・通って数カ月のため、そのような行事があるか存じ上げてない ・交流会へ参加するため場所がわからず電話をしたら、わからないと言われて参加できなかった	・年間計画を立てるなど、定期的に行えるよう企画していく。 ・法人のけやき祭り等で兄弟の参加もあった。そういった場を活用していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	4		4		・保護者会など相談しやすい場（保護者会など）を増やす。 ・玄関に意見箱を作成し、相談があることを発信できるようにする。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	2	2	1	・過去3回ダブルブッキングがあったり、こちらが予定を変更しないといけないことがあって、本当に職員の人に共有されているのか疑問に思うことがあった	・ダブルチェックを行い、予定の確認できるようにした。 ・意思伝達のため、連絡帳、さくら連絡網、電話、対面を使い丁寧に対応していく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	33	1		1		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	1	1	5	・アプリでの報告やハミングだよりでの報告がされている	・マニュアルを掲示する。お便りで掲示場所を発信する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1		14	・アプリでの報告やハミングだよりでの報告がされている	・避難訓練の様子はお便りで発信している。それ以外の物品の備え等発信する。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	2		6		・お便りで安全計画の項目を作り発信する。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26			9		・事故や怪我があった場合はすぐに連絡を行っている。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	35				・やっと慣れて「今日ハミング行く？」と聞いてくれる	

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも楽しそうに向かっている</li> <li>・毎回楽しみに通所している</li> <li>・行ってしまえば楽しく活動できているようだが、まだまだ行くのを嫌がってしまう</li> <li>・言葉がまだ話せないため、わからず</li> <li>・通所を嫌がることもなく、毎回楽しめている</li> <li>・1歳11ヶ月から3歳の初めまでは、行くのを嫌がったり気分屋だったのですが、年中からはお気に入りの先生が2人できたようで、毎日ハミングにいきたいと言うようになった。去年前半までは不安に思うこともありましたが、今は親も安心して子どもを預けられている</li> </ul>
	29	事業所の支援に満足していますか。	35				<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳で詳しく様子を教えていただけるので安心している</li> </ul>